



# さんいちどり

荒川区立第三日暮里小学校  
発行日 令和3年4月30日  
発行者 校長 末永 寿宣

## 5月号

学校目標  
考える子  
たくましい子  
思いやりの  
ある子

## コロナ禍で何ができるか ～夢を育む教育活動に挑戦～

校長 末永 寿宣

感染症対策で身体的距離を確保しなければならない中、子どもたちが人と人との心のつながりを感じ取ることができるようにするために、創意工夫を凝らした多様な取組が必要となっています。

このような状況下において、改めて、子どもたちが豊かに関わり合える教育を実現するために、三日小では、「心のつながりを深めるための夢プロジェクト」を以下のようにスタートしました。

学級という枠組みにとらわれず、校内全体を学びの場となるように、工夫してまいります。これにより、ピンチをチャンスに変え、教育効果を高めてまいります。

### 夢を与える体験活動

#### ○「JAXA/こども宇宙プロジェクト2021」

このプロジェクトは、全校児童を対象とし、子どもたちが書いたメッセージや笑顔写真などをロケットに乗せて、国際宇宙ステーション（ISS）に打ち上げ、宇宙飛行士とともに数か月間、ISS内で宇宙旅行をするという企画です。

遥かかなたの宇宙空間に思いを馳せることで、子どもたちが自らの夢を大きく持ち、多くの子どもたちと宇宙の最初の接点となることを期待しています。

その他に「文化庁/谷桃子バレエ団公演」や「東京藝術大学・青森県立美術館/あおもりJOMONプロジェクト」も企画されており、子どもたちに夢を与える体験活動を実施いたします。



### やるべきことはやる

○校内研究会では、学校図書館研究を進め、成果を発表します。



三日小は、長年学校図書館活用の研究を続けてきました。今年度はまとめの年となります。

発表会は明年1/21日（金）を予定しています。

○辞書引き学習システムの構築と定着を図り、1年生から取り組んだことで、語彙力向上にどのような成果と課題があるかを明らかにします。

○感染予防対策を徹底し、これまでの教育活動を継続します。



交通安全教室で自転車優先レーンの走り方について講習を受けました。路肩に車が止まっている場合は、停車し後方確認をしてから進むことを確認しました。また、2年生の生活科では、1年生の校内探検のために、案内板を作り、各室に掲示しました。「学びを止めない」を合言葉にやるべきことはしっかり工夫して学習しています。

### 離れていても心はつながっている

○校内ネットワークを活用し、映像と音声で子どもたちの交流を実現します。



タブレットや電子黒板を使い、図書室やロビーなどを第2、第3の「教室」として活用して、分散させた児童を双方向で結び、授業を展開する計画です。

すべての学年が一堂に会する全校朝会は、校庭で行っています。しっかりディスタンスをとり、マスク着用で、安全第一で実施しています。

### 感染症予防対策

○WEB連絡帳は、欠席等の連絡で連絡ノートや電話でお知らせいただいていたりましたが、いつでもどこからでも連絡が届くようになりました。

また、休日等のPCR検査結果連絡のために、コロナ情報専用メールを設定しました。「保護者専用ページ」からアクセスできます。ご活用ください。



さらに、学校一斉配信メールと学校ホームページのダブルで情報を確実に発信してまいります。ウィルス除去のため、光触媒施工も実施しました。まずは共有部分のコーティングを行い、消毒の手間を軽減しました。先週より、「体表温度測定器」をスクール安全ステーションの受付に設置し、来校者の体温を測定します。マスクをつけていない方への注意も音声で流れます。これからも、工夫を凝らし、ピンチをチャンスに変えてまいります。ご支援ください。